

こととなるへし。

●新著紹介

向井哲吉著 最新簡易製鐵術 九善 正價二圓三十錢
本書は第一版を出せしより既に二十餘年、今茲に其稿を新にし其間に遂げたる著大なる進歩を記述して改版せしものとす、著者は目下八幡製鐵所に在りて製鋼工場を全般に亘りて主宰し、又嘗て東京高等工業學校に於て教鞭を執り、今現に八幡製鐵所にて職工養成所の職務を擔任せらる、本書の如き目的を有すへき著を爲すに最適任者と稱すへし。

全部二百二十二頁を分ちて四編となし、第一編六十七頁に亘る總論に於て、鐵の分類・鐵化學・鐵の理學的性質・製鐵原料・製鐵爐及爐材につき論し、第二編は四十一頁を費して銑鐵製造を述へ、熔鑛爐の構造の大要を述へて其操業法を説き、其生産物なる銑鐵の種類を述へ、終りに電氣熔鑛爐につき一頁を費せり。

第三編には四十三頁に亘りて鍊鐵及鋼製造を叙し、和鐵製鐵法及其製品につき可なり詳述し、次に坩堝鋼・ベッセマ鋼・平爐鋼及電氣鋼の製鋼法を説き、滲炭鋼及脫炭鐵を叙せり。

第四編造形加工は三十九頁を費し、鍛鍊加工に於て銚・推壓機及壓延加工を説きたり、壓延法にては(一)粗壓延

(二)條鋼壓延(三)鈹鋼壓延(四)線材壓延(五)特種製品に別ち其概要を記述せり。

本書には一頁大の寫真版七葉と色刷版二葉とを附して説明に便せり。

之を要するに、本書は簡易に製鐵法を記述せるものにして、近來製鐵事業振興の機運に際し、斯業に携らんとする人をして、一般的の智識を得せしむるに便利なる書と謂ふへし。

●鐵及鋼に關する特許

特許局發行の特許公報本年十二月十日以降の分より鐵及鋼に關係あるものを摘記すれば左の如し。

第二八六一六號(明治四十五年五月十五日出願
大正四年十一月十八日特許)

特許權者 米國パテンツパーチエー

ジング、コンパニー

電氣弧光爐

發明の性質及び目的の要領 本發明は熔解器の一部を非金屬性電極となし、之に對して其間に電弧を生すへき電極は金屬製とし、且可調整に作り鑛石中に含有せられたる金屬と共に熔解して滴下する様にせる電氣爐に關し、其目的とする處は電極の一部を熔劑として働かしめ、隨て數種の含有金屬を抽出する場合と雖、能く其作用を迅速簡單に行はしめんとするにあり。